

号外！ 次は5月。あの、唄と三味線の
名手にも来ていただいて、生の寄席囃子で
華やかに、艶やかに、粋にやります。

第19回 佐世保かっちえて落語会

林家正蔵独演会

次回も、いままで佐世保ではなかったような“本格的な落語会”をお客様方に楽しんでいただきたくて、正蔵さんと一緒に、唄と寄席囃子（三味線）の名手である「太田その」さんにも来ていただくことにいたしました。

寄席囃子（よせばやし）とは、噺家が登場する時や演じている間に、落語の効果をも高めるための演奏のことです。

そういう本格的なことも、いつかはやりたいと考えていて、2017年12月（第15回目）に初めて実現いたしました。その時の反響は、思っていた以上に大きくて、お客様方から数多くの感想をお寄せいただきました。

たとえば・・・

- ・「正蔵師匠の全身全霊の高座に魅せられました。その話術だけでなく、寄席踊り（奴さん）も初めて見ましたが本物の芸人さんは踊りも一流なんですね。太田そのさん、三味線の奏でるメロディー、効果音、そして「長崎ぶらぶら節」、客席から、ため息がこぼれ、満場の拍手、まさに色香漂う日本文化の極み・・・（略） 教育関係者（男性）」
- ・「本当に素晴らしいものを見させて頂きました。正蔵師匠の噺は元より、所作や佇まいに、日本人の情と粋を感じ、涙が出ました。日本の文化、歴史っていいもんだなあと・・・（略） 広告関係者（女性）」
- ・「正蔵さんの噺は、年々深みを増しているように思います。じわじわと心を動かされて、気がつくとな涙が出ていました。太田そのさんの三味線と唄には感動しました。所作の美しさも含めて感じるどころがあり、生で見なければ分からないことでした・・・（略） 公務員（男性）」

以上、ごく一部の感想を抜粋いたしました。あの日あの時見聞された方には、ただ一言・・・「あの高座を、もう一度やります！前回以上に！」とお伝えすれば十分でしょう。

で、あの日あの時あの高座を見逃した方にお伝えいたしますが・・・唄と寄席囃子の名手である「太田その」さんは、三味線を高校時代から本格的に習い、東京芸術大学の邦楽科で清元を専攻し、長唄を杵屋勝彦、端唄を柏葉すみの両師に師事。芸大卒業後は寄席囃子として落語協会に所属し、現在は寄席囃子の会を主催して、囃家さんたちから全幅の信頼を得ている方です。

正蔵さんのことは、皆さん誰もがご存じでしょうから、多くは書きません。非常に多忙な方ではありますが、私たちの会には、次回で6回目の出演になります。有難いですねえ。林家一門のみならず落語界の大名跡である“正蔵（九代目）”を襲名して以来、精進に精進を重ね、その温かい人柄から語られる古典落語には、正蔵さんならではの優しい笑いと情が溢れています。そんな正蔵さんが、太田そのさんの寄席囃子に乗って・・・今度はどんな落語を聴かせてくれるのか、今度も踊りを見せてくるのか・・・期待は募るばかりですが、日頃から息のあったご両人が共鳴し合って、小粋に、洒脱に、じっくりと、たっぷりと日本文化の粋と江戸情緒の世界へ誘ってくれる次回の「佐世保かっちえて落語会」・・・大いにご期待ください。

で、もうひとつ、前回に太鼓を担当してくれた「林家たま平」さんも来てくれます。たま平さんは正蔵さんの実の息子。親子三代の真打でさえ史上初だったのに、さらにそれを更新する落語界初の四代目として、その将来を期待されている若き“二つ目”なのです。二つ目とは落語家の階級で、その次が真打。次回の「かっちえて落語会」には、ほんとの親子会の楽しみもありますよ。

もちりん、いつものように我らが落語っ子たちも前座として出演いたしますので、こちらも大いにご期待ください。

「こんなに盛りだくさんで贅沢な会は、佐世保は元より全国でもめったにないでしょう」と、あなたの目をしっかりと見て、きっぱりと言い切れるほどの自信がありますので、ぜひ！ご来場いただきたいですね。この会場で本日より予約を承ります！笑う門には福来たる、予約した人には幸来る。

（文責・海老原靖芳）

2019年5月19日(日)

開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席：2,500円 自由席：2,000円

小中高生：1,000円(指定席・自由席ともに同じ)

〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃんて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市千尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

-----切り取り線-----

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ **指定席** 大人 () 枚・子供 () 枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____

第19回

佐世保かっちえて落語会

林家正蔵 独演会



舞台上姿を現すだけで場内を明るくできる数少ない噺家のひとり。全国的な人気もさることながら、国立花形演芸大賞古典落語金賞や文化庁芸術祭優秀賞なども受賞し、その温かい人柄から語られる古典落語には、「正蔵ならではの優しい笑いと情があふれている」、と非常に高く評価されている。テレビに映画にと多方面で活躍しているのも、すべては落語のため。落語協会の副会長として落語界を支え、昨今の落語ブームを牽引しているひとりである。



太田その(寄席囃子)

東京芸術大学・邦楽科卒業。
現在は寄席囃子の会を主宰。
長唄・端唄や三味線の名手であり、噺家たちから全幅の信頼を得ている“腕っこき”。



林家たま平(二つ目)

正蔵師匠の弟子にして実の息子。
落語界初の四代目真打になる事を期待されている前途有望な噺家。

前座 | 佐世保かっちえて落語っ系

古川 万葉(広田小4年)・藤田 乙芭(大久保小6年)
古川 咲弥(高専2年)

◆日時: 2019年 **5月19日(日)** 開場/午後3時30分 開演/午後4時

◆会場: **佐世保コミュニティーセンター5F**

◆料金: <大人> 指定席/2,500円 自由席/2,000円
<小中高生> 全席/1,000円



<チケット販売/問い合わせ先>

佐世保かっちえて落語会 実行委員会事務局

佐世保市干尽町2-5 観光交流センター 2階 Soup-Up させぽ内

TEL0956-32-0888

(月~金 午前9時~午後6時)

<企画> 海老原 靖芳 <後援> 佐世保市教育委員会・長崎県立佐世保南高柏葉会

印刷: プリント工房させぽ